

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

石川 れきはく

No. 133
2021.2.5

企画展

REKIHAKU COLLECTION 2020

れきはくコレクション2020

きてんきょう
窺天鏡
(筒型望遠鏡)
とうえい
松田東英作

令和3年

2/13 土 ▶ 3/21 日

会期中無休

9:00~17:00 展示室への入室は
16:30まで

会場 石川県立歴史博物館 企画展示室

観覧料 一般300円(240円)/大学生240円(190円)/高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金
上記の料金で常設展もあわせてご覧いただけます

企画展

REKIHAKU COLLECTION

2020

令和3年

2/13 土 → 3/21 日

会期中無休

れきはくコレクション2020

9:00~17:00 展示室への入室は
16:30まで

会場 石川県立歴史博物館 企画展示室

観覧料 一般300円(240円)/大学生240円(190円)/高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金
上記の料金で常設展もあわせてご覧いただけます

見どころ解説

第1回

2月21日(日) 13:30~14:30
「加州刀・能登上布」

会場 当館ワークショップルーム

定員 40名

申込 当館ホームページのイベント参加申込フォームまたは往復はがき
(締切:第1回2月10日・第2回3月3日必着、定員を超えた場合は抽選となります)

第2回

3月14日(日) 13:30~14:30
「近世・近代の文書」

聴講料 無料(企画展を観覧する場合は観覧料が必要です)

石川県立歴史博物館では、石川県の歴史と文化に関わる資料を体系的に収集しています。2020年には、県内外の皆様のご好意により多くの資料をご寄附いただき、計665点の資料を新たに収蔵することができました。この企画展では、ご寄附に対する感謝の意を表して、2020年の新収蔵品を一堂に公開します。



藁苞
附、伊万里焼染錦三ツ組鉢

江戸時代の加賀の刀工・
かねわか わざし
兼若の刀や脇指、江戸後
期の眼科医・松田東英が
てんぼう
1832(天保3)年に製作し

きてんきょう
た窺天鏡(望遠鏡)、
なりやす
藩主の前田斉泰が70
歳の時にきこう
仙之助に贈った書、第二
せんのおけ
代石川県令の桐山純孝の履
きりやますみたか
歴書や辞令、梅津茂雄氏が収集し



双眼鏡
(小川仙之助所用)

た能登上布のコレクションなど、美術・歴史・民俗の多彩な資料を展示します。

最後になりましたが、貴重な資料をご寄附いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。



刀 銘賀州住兼若 寛文八年二月吉日



刀 銘賀州住兼若 延宝六年二月吉日

2020年新収蔵資料一覧(受入順、敬称略)

	資料名	点数	寄贈者
美術	人物・花鳥・山水貼交中屏風	6曲1双	大村昭男
	刀 銘清光	1	吉田謙三
	刀 銘北藩藤原大寿作 田中半蔵正方佩刀	1	〃
	刀 銘賀州住兼若 寛文八年二月吉日	1	前田 修
	刀 銘賀州住兼若 延宝六年二月吉日	1	寺川 広
	脇指 銘賀州住兼若 以南蛮鉄造	1	岡部朋代

歴史	第四高等学校絵葉書	8	望月 脩
	窺天鏡(筒型望遠鏡)	1	個人
	平天儀図解(写)	1	〃
	家蔵書籍扣	1	〃
	先祖由緒井一類附帳	6	〃
	漫遊雑記	1	〃
	芥子園画伝摘要	1	〃
	先祖由緒帳写	2	〃
	連句集(四季独庵)	1	〃
	くもの巣の和歌短冊	1	〃
	芹齋書軸	1	〃
	松田王作医術開業免許	1	〃
	吉川光陽写真映像機器資材	211	吉川真樹子
	鈴木家資料(書籍類)	47	鈴木 賢
	木刀	1	〃
	短刀 銘陀羅尼橘泰平	1	〃
	槍 平三角造	1	〃
	槍 平三角造 銘平安城石道助房	1	〃
	薙刀 銘千代鶴	1	〃
	第二代石川県令 桐山純孝関係資料	10	三村晶子
	前田齊泰七十歳書額	1	小川正明
	双眼鏡(小川仙之助所用)	1	〃
	三百刈家文書	22	個人

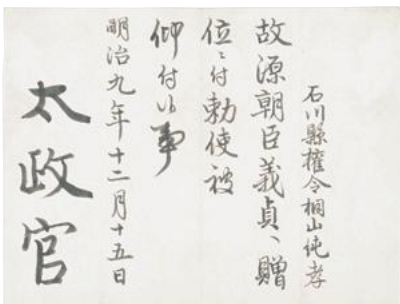
	資料名	点数	寄贈者
民俗	梅津茂雄氏収集上布コレクション	190	梅津陽子
	黒塗高足膳十組揃	4箱	個人
	朱塗高足膳十組揃	4箱	〃
	籠に菊桔梗図蒔絵桐火鉢	4	〃
	天神人形	1	〃
	黒塗熨斗に宝珠文蒔絵三方	1対	〃
	瓶子	1対	〃
	神酒口(宝船)	1対	〃
	酒器	1対	〃
	黒塗桜に若松図蒔絵丸形四段重	1	〃
	黒塗松竹梅に扇面散し蒔絵五段重	1	〃
	黒塗宝尽くし文蒔絵五段重	2	〃
	黒塗唐草文蒔絵五段重	1	〃
	黒塗唐草文蒔絵重台	2	〃
	朱塗松竹梅図蒔絵三重盃・朱塗盃台	1組	〃
	朱塗松梅に鶴図蒔絵大盃・朱塗盃台	1組	〃
	萌黄縮緬地重座布団	1	〃
	緋縮緬地竹林の七賢図袱紗	1	〃
	萌黄縮緬地風呂敷	1	〃
	紺木綿地菊文様五幅風呂敷	1	〃
	婚礼用簪	8	〃
	黒塗唐草に違柏紋蒔絵化粧箱	1	〃
	黒塗唐草輪に違柏紋蒔絵針箱	1	〃
	オボケ	1	〃
	のし板	1組	〃
	紺木綿地単衣長着	5	〃
	軍用コート	1	〃
	馬医伝書	一括	〃
	蓑苞	3	大村昭男
	布目仕立店関係資料	89	若松松子



前田齊泰七十歳書額



人物・花鳥・山水貼交中屏風



第二代石川県令 桐山純孝関係資料



三百刈家文書



能登上布長着(梅津茂雄氏
収集上布コレクション)

狐山古墳出土の貝製腕輪

学芸主査 三浦俊明

当館が所蔵している古写真のなかに、^{きつねやま}狐山古墳（加賀市）が昭和7年（1932）に発掘された時の写真があります。この時、狐山古墳は、川の堤防に使うために^{ふんぎゅう}墳丘の土が採取され、破壊の危機に瀕していました。その際に古墳の内部から石棺^{せっかん}が発見され、棺の中に銅鏡・甲冑^{かっちゅう}・刀剣・玉類などの副葬品が納められていました。石棺に葬られていた人物は、人骨から壮年期の男性と推定されています。この発見がきっかけとなって、狐山古墳は国の史跡に指定されて保存されることになり、出土品は東京国立博物館と古墳に隣接する収蔵庫で保管されています。

昭和7年に撮影された古墳の出土品の写真に、貝で作られた腕輪が写っています。腕輪は破片であったためか、当時は人骨と認識されていたようです。狐山古墳の出土品を報告した文献にも腕輪の記録がなく、その存在は知られていませんでした。貝製腕輪の研究者からご教示を得ながら、当館の写真を詳しく検討したところ、貝製腕輪は2点あり、ゴホウラという貝で作られていたと推定できました。ゴホウラは巻貝の一種で、日本では沖縄^{あまみ}・奄美などの南の海に生息しています。

狐山古墳は、全長約55mの前方後円墳で、古墳時代中期末（5世紀末）に築造されました。^{えぬま}江沼地域を代表する大規模な古墳で、副葬品の質・量とも優れており、この地を治めた豪族が埋葬されたと考えられます。狐山古墳が造られた時代は、中国の王朝が南北で分かれ、朝鮮半島では国々の間で覇権が争われていました。^わ倭と呼ばれた日本から中国の宋^{そう}に使節が派遣され、朝鮮半島の動乱に倭が関与していたことが史料に記録されています。緊迫した国際情勢を反映して、5世紀の古墳には甲冑などの武器が副葬されることが多く、朝鮮半島の馬具や装身具などの舶来品も見られます。狐山古墳にも、朝鮮半島製の銀製帯金具が副葬されていました。

5世紀の南海産の貝製腕輪は、九州地方の古墳

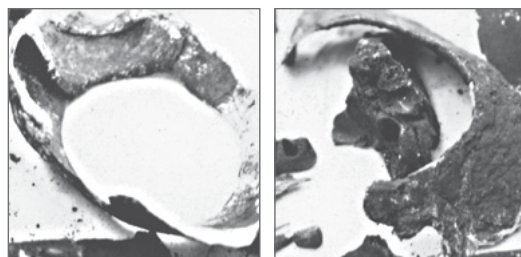
から多数発見されていますが、古墳時代の中心地の近畿中部にはなく、東日本では狐山古墳を含めて3基の古墳にしか見られない珍しい副葬品です。江沼の豪族はどのようにして希少な貝製腕輪を手に入れたのでしょうか？。朝鮮半島製の帯金具とあわせて考えてみることで、その謎が少し解けてきます。

『日本書紀』には、地方の豪族が朝鮮半島に渡り、外交や軍事で活躍した様子が記され、各地の古墳に副葬された朝鮮半島の文物もその際にもたらされた可能性が指摘されています。江沼の豪族が朝鮮半島に赴いたのか定かではありませんが、狐山古墳の副葬品から、九州地方を経由して朝鮮半島に至るルートが見えてきます。さらに、狐山古墳から中国製の銅鏡も出土しており、副葬品の来歴は九州－朝鮮半島－中国につながり、当時の東アジア情勢を読み解ける可能性が秘められています。

狐山古墳の写真は昭和初期に撮影されたもので、この写真がなければ貝製腕輪の存在は確認できませんでした。古写真は、失われた情報を復元できる貴重な歴史資料と言えます。



▲狐山古墳の石棺（昭和7年撮影）



▲狐山古墳出土の貝製腕輪（昭和7年撮影）

秋季特別展

加賀藩江戸屋敷を振り返る

今年度の秋季特別展「加賀藩江戸屋敷一本郷邸の儀礼とくらし」。当初は春季特別展の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期となつての開催となりました。ここでは延期前から閉幕までを振り返りたいと思います。

例年、春季特別展は開幕日の4か月ほど前、ちょうど新年を迎えたあたりから本格的に準備が慌たしくなります。今回も図録の原稿執筆や会場造作の打ち合わせ、印刷物の校正で忙しい日々でしたが、3月に入り徐々に雲行きが怪しくなり、4月中旬に延期が決定。遠方への借用を考えるとぎりぎりのタイミングで、そこからは作業の中断、関係先への連絡、そして臨時休館とバタバタと続きました。休館中は、館内の未整理資料から「加賀藩」に関する文書が出てきたため、その解説をして過ごしました。

臨時休館が終わり、博物館が開館した6月・7月頃は、今振り返ると一番気持ちが大変な時期でした。博物館全体が徐々に活動を再開していく中で、特別展についてはなかなか先が見通せないこともあり、特別展への気持ちを切らしかけていたのだと思います。それでも7月の中旬に新たな会期が確定すると、図録や広報物の編集・校正を再開する中で、もう一度特別展に向き合える時間が増えていきました。

実際の展示では、入口で江戸の世界観と、本郷邸跡の発掘調査風景を表現。そして、展示品の大半を占める出土資料では、遺跡の調査写真を多めに入れるなどの工夫をこらしました。会期の大幅な変更にもかかわらず、当初展示を予定していた資料をそのままお借りでき、中断前に思い描いていた展示空間をほぼそのまま実現できました。

一方で、関連イベントは変更点が多く、展示解説は別室での開催となりました。展示室に実物があるのに間近でご案内できないなど、参加された方もご案内する側もお互いに不完全燃焼となる部分があったかと思います。そのほか、外部の講師を招いての講演会やセミナーなど、残念ながら中止となったイベントも多々ありました。

特別展を初めて企画した立場としては、開幕直前に延期となるなど、いきなり大変な展示になったというのが正直な感想です。しかし、中止となった展示も全国的に数多くあった中で、実際の展示や図録といったかたちで最終的に世の中に出せたのは幸運でした。また、来館者や資料の所蔵者の皆様、そのほか関係者の皆様のご協力のおかげで無事に閉幕することができたことに対して、この場を借りてお礼申し上げます。2021年こそは完全な形で特別展が開催できるような世の中になるよう祈っています。

(学芸員 野村 将之)



▼特別展示室入口の風景

▲参加者間の距離をとって別室で実施した展示解説



催し物案内

展示解説や各種講座などの情報をお知らせします。

※各種催し物の詳細については、当館ホームページにてお知らせします。

2月 *2月の休館日 2/12(金)

26日(金) 学芸員によるワンポイント解説
コメづくりの伝来と弥生人の食生活
講師：野村 将之(学芸員)

3月 *3月の休館日 3/22(月)

13日(土) れきはくゼミナール
金沢歌舞伎のその後—女性役者・坂東音芽の足跡から—
講師：大井 理恵(学芸員)

18日(木) 第2回 古文書講座(後期)
江戸時代の旅
講師：濱岡 伸也(学芸員兼資料課長)

26日(金) 学芸員によるワンポイント解説
輸出九谷の世界
講師：中村 真菜美(学芸員)

受講無料 要申込

学芸員によるワンポイント解説(全11回)

毎月1回、金曜日に実施している展示解説。当館の学芸員が展示のみどころを紹介します。

13:30~14:00 展示室

受講無料 要申込

れきはくゼミナール(全11回)

毎月1回、土曜日に実施している博物館講座。当館の学芸員が独自のテーマを設定し講義します。(3月は月2回)

13:30~15:00 ワークショップルーム

受講無料 要申込

古文書講座(随時開催)

当館の学芸員が古文書の読み方や内容を解説します。

13:30~15:00 ワークショップルーム

TOPICS

お答えします！よくあるお問合せ

博物館へのアクセス・駐車場編

博物館に寄せられる、よくあるお問合せの一つに「駐車場はありますか？」というものがあります。2020年秋に開館した国立工芸館の整備にともない、本多の森公園周辺の整備が進められ、道路を挟んで博物館の向かい側にある「第1共用駐車場」(県立能楽堂前)が2019年秋に完成いたしました。対象の文化施設をご利用の方に限り(受付で要スタンプ捺印)、無料でお使いいただける駐車場です。当館の無料駐車場(45台)が満車の場合は、第1共用駐車場をご利用いただけます。

なお、この駐車場の前に最寄りのバス停「県立美術館・成翼閣前」(兼六園シャトル)があります。

対象の文化施設

県立美術館、県立歴史博物館・加賀本多博物館、県立能楽堂
いしかわ生活工芸ミュージアム(県立伝統産業工芸館)、国立工芸館



第1共用駐車場入り口



兼六園シャトル
バス停



新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

当館は、新型コロナウイルスの感染予防策を講じた上で開館しております。
ご来館のみなさまには、次のことについてご協力をお願いします。

- ご来館の際はマスクをご着用ください。
- 入館時に検温と手指消毒をお願いします。
- 発熱・強い倦怠感など体調がすぐれない場合、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合は、入館をご遠慮ください。
- 館内が多人数となった場合には、入場制限や観覧者間の距離の確保などをお願いする場合があります。
- 団体での入館をご希望の際は、事前にご連絡をお願いします。
- ご来館の際、来館日・時刻をお控えいただくようお願いします。
- 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)の利用を推奨します。

また、現在常設展の音声ガイド・一部映像機器の利用を中止しているほか、「歴史体験ひろば」が閉室しております。
みなさまにはご不便をおかけしておりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、最新の情報は当館ホームページもしくはTwitterにて発信します。



いしかわ赤レンガミュージアム

石川県立歴史博物館

ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒920-0963 石川県金沢市出羽町 3-1
Tel. 076-262-3236 Fax. 076-262-1836
E-mail: rekihaku@pref.ishikawa.lg.jp
<https://ishikawa-rekihaku.jp>

